

3月定例市議会が1日からはじまります みなさんの声をまっすぐにとどけ願い実現にがんばります

3月定例市議会が1日からはじまり、平成22年度沼田市一般会計補正予算（第6号）、8件の特別会計補正予算、沼田市出産祝金支給条例を廃止する条例について、平成23年度沼田市一般会計予算と平成23年度沼田市国民健康保険特別会計予算など7件の特別会計予算など、新年度予算が審議されます。

1日の本会議では、市長の施政方針、新年度予算について提案がされ、一般質問は7日から9日までの3日間の日程で、大東議員など12人の議員がおこないます。

大東議員の一般質問

1、国民健康保険について

国民健康保険税の引き下げなどについて

2、有害鳥獣対策について

今後の対策などについて

3、市営住宅について

東下原団地へのエレベーター設置などについて

4、地域の安心・安全対策について

集落支援委員の活用についてなど



※大東議員の質問は、7日の4番目、午後3時30分ごろからの予定です。時間は、変わる場合があります。

国の交付金を活用し屋根などを補修へ 沼田小・利南東小・升形小など校舎整備を補正予算で提案

3月定例市議会に提案された平成22年度沼田市一般会計補正予算（第6号）で、小学校の校舎整備事業として、升形小学校の校舎外壁補修や利南東小の屋根の補修工事がおこなわれることとなりました。

この補修工事は、国の交付金を活用しておこなわれますが、ほかにも太鼓など和楽器やブラスバンドで使う楽器の購入なども予定されています。

第3子以降の出産に支給されていた出産祝い金を廃止へ 1400万円の予算をカット 子育て支援にブレーキ

3月定例市議会に「沼田市出産祝金支給条例を廃止する条例」が、提案されました。

出産祝金は、第3子以降の出産に1人20万円を支給するというのもで、今年度の予算では1400万円が計上されていました。

少子化対策を強化し、安心して子どもを産み、育てる環境を整備しなくてはならない時に、出産祝金をカットすることは子育て支援にブレーキをかけるようなものです。



東京都港区と木材活用と伐採後の植林について協定を締結 林業の活性化にむけた取り組みが重要

東京都港区で9日、「みなと森と水サミット2011」が開かれ、沼田市長を含め23の首長が参加しました。

港区が公共施設に木材を使用する場合、参加した市町村の木材を使用することなどの協定が結ばれました。

信頼を得られる木材を提供するためにも、林業の活性化の具体的な取り組みをスタートさせるべきです。

2011年2月27日

NO. 248

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆきです



こんにちは。沼田市など群馬県の上空でおこなわれている、アメリカ軍の低空飛行訓練に対し、多くの県民から県庁に苦情を寄せられましたが、日本共産党群馬県委員会と塩川てつや衆議院議員は18日、国にアメリカ軍に飛行中止をさせるよう求めました。

14日には県庁に41件の苦情が寄せられ、県立高校入試の15日については、県も事前に低空飛行訓練をおこなわないよう国に要請していましたが、低空飛行訓練はおこなわれ、17日、18日も低空飛行訓練はつづきました。

防衛省と外務省の担当者は、15日の県立高校の入試日については、最大限配慮するよう要請したといいつつ、「安保条約の目的のため訓練であり、(アメリカ軍に)飛ぶなどはいえない」などこのべました。

こうして低空飛行訓練の爆音被害を一扫するためにも、国は、住民の悲痛な訴えを受け止め、正面から中止を要請するべきです。

ぶらい散歩 めまた道 白沢町 その九 平出 正眼寺 平出歌舞伎

正眼寺（しょうげんじ）の開創は、康応元年（1389）と伝えられ、宝暦元年（1751）に再建されました。



正眼寺の十一面観音菩薩の石仏と本堂

参道の石仏のなかには、丸彫りの十一面観音坐像があり、市指定文化財の板碑が残され、明治時代には米倉謙龍住職が、「娘の会」を結成し、お寺で学習し、女性の地位向上を図るなど、生涯学習ともいえる活動が展開されてきました。

平出歌舞伎は、市指定重要民俗文化財に指定され、江戸中期（約250年ほど前）から伝わる農村歌舞伎の流れを受け、地域の祭礼と深く結びついていました。



平出子ども歌舞伎

戦争で一時中断していましたが、昭和24年（1949）に復活しました。

昭和62年（1987）から旧白沢村の小中学生による子ども歌舞伎もはじまりました。（3月13日の白沢町芸能祭で平出歌舞伎が上演される予定です）